

ヘルパンギーナの報告数増加！こどもの夏かぜに注意しましょう！

・夏期に流行するウイルス性疾患の総称を「夏かぜ」と呼び、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、手足口病などが代表的疾患です。6月下旬に入り、ヘルパンギーナの報告が増加しているのに注意しましょう！

◆どんな病気？

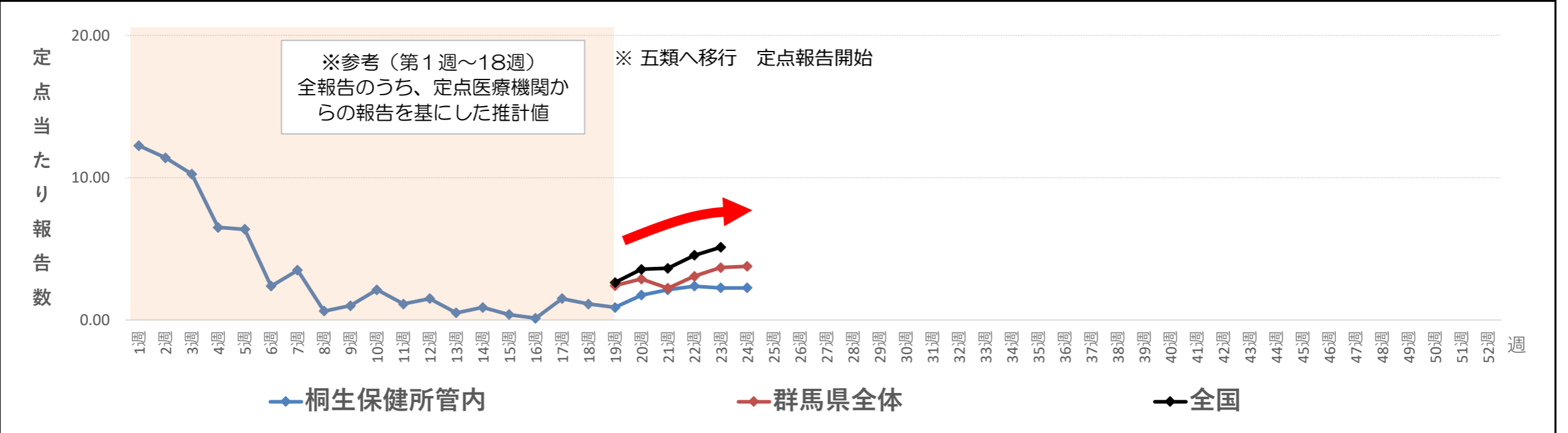
- ・咽頭結膜熱：別名「プール熱」とも呼ばれ、主な症状は、発熱・全咽頭炎・結膜炎などです。
- ・ヘルパンギーナ：突然の高熱（38～40℃）と咽頭痛が主症状。口の中に水疱ができ、痛みで食欲不振になることがあります。
- ・手足口病：発熱に加え、口の中、手のひら、足の甲、足の裏などに数ミリ程度の発疹が出る。大人が感染すると、痛みが強くなることも多い。



◆予防対策：手指は石けんと流水でよく洗いましょう。タオルの共用はやめましょう。

【注目疾患】

◎新型コロナウイルス感染症 5月8日から五類感染症となり、定点医療機関による新規感染者数の報告が開始されました。群馬県全体の報告は3週連続で増加、桐生保健所管内の報告数は横ばいとなっています。手洗いや換気、マスクの効果的な場面での着用が有効です。

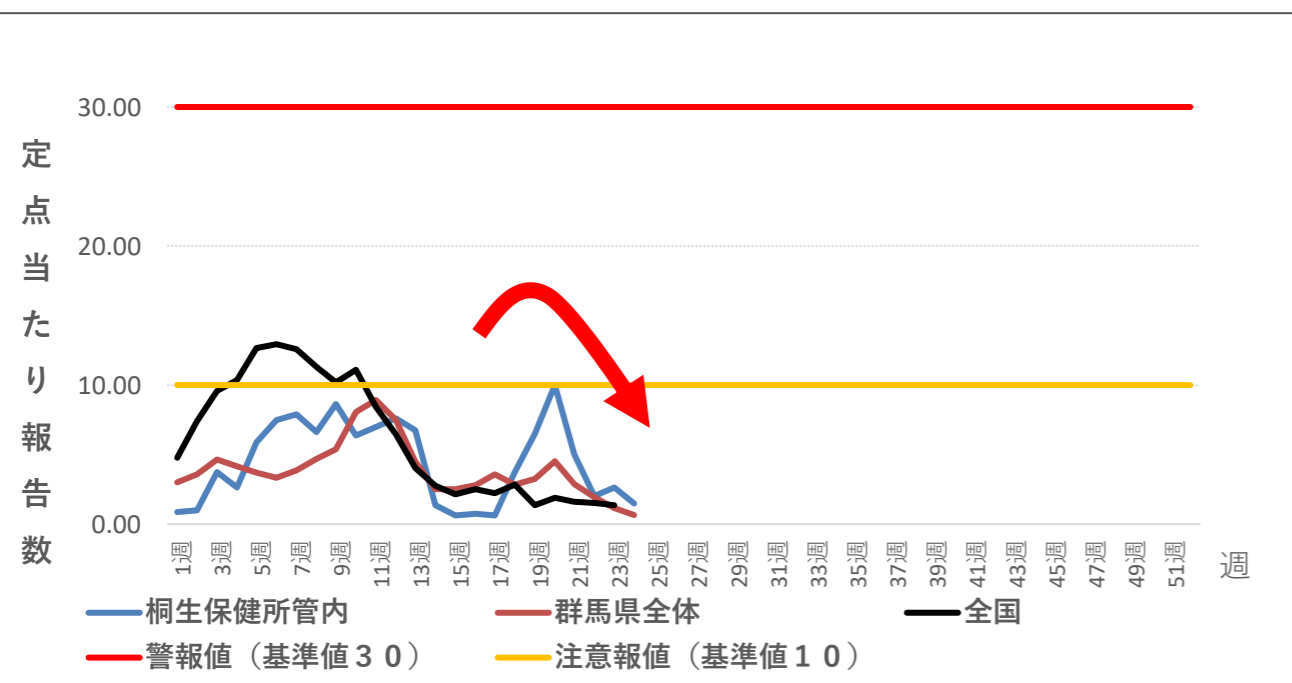


◎その他感染症： ヘルパンギーナの報告が増えています。（管内の定点あたり報告数：3.00）
※県内一部の地域では警報値（6.00）を超えた報告が寄せられています。

【管内の主な感染症発生動向】

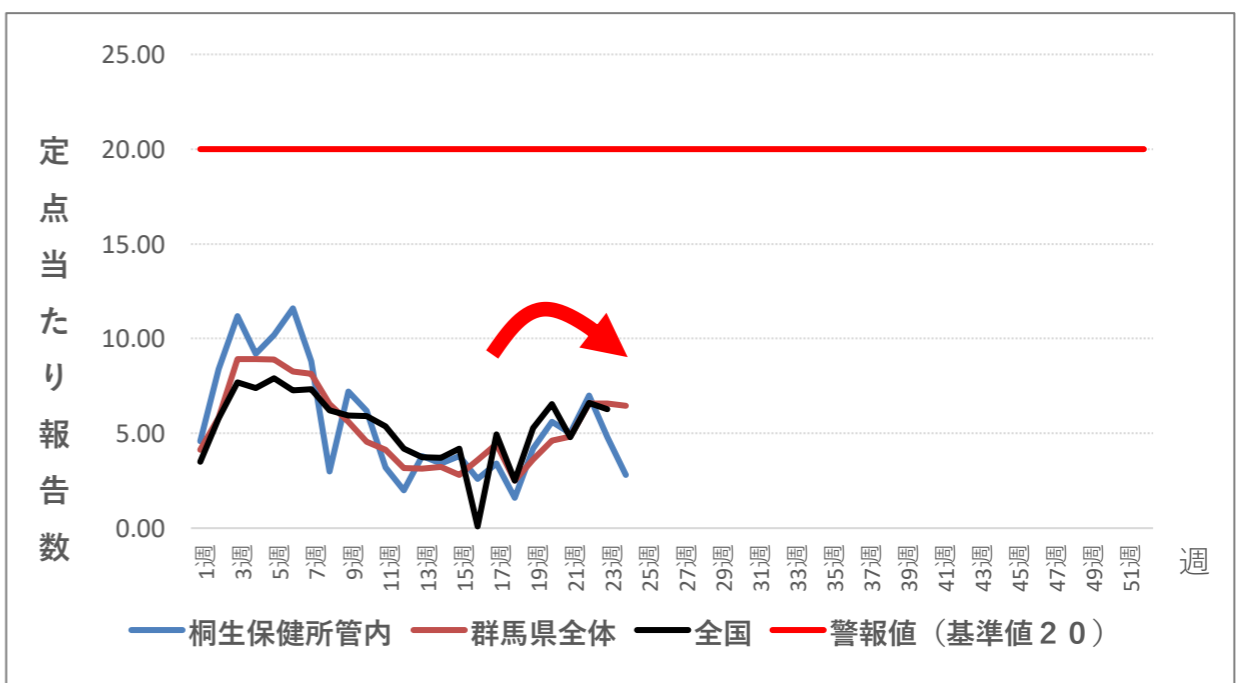
◎インフルエンザ：

報告は減少しましたが、一部で学級閉鎖の報告が継続しています。引き続き咳エチケット、手指衛生をこころがけましょう。



◎感染性胃腸炎：

報告が継続しています。汚染された手・食品・水などを通じて口から感染するので、ふん便や嘔吐物进行处理するときは、使い捨て手袋を着用し慎重に行いましょう。



※ 感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計・作成しています

★より詳しい情報は群馬県ホームページで公開しています★
「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>



★ 毎月第1・第3月曜日発行

（問い合わせ先）
桐生保健福祉事務所 保健係
電話：0277-53-4131